

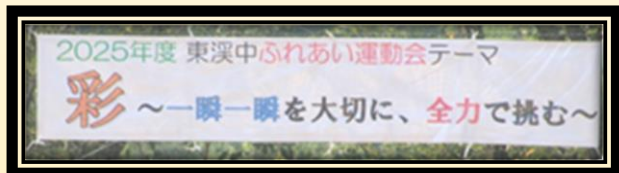
東溪中学校だより

～学校の経営・運営の状況のお知らせ～

第 3 号

文責 校長

「ふれあい運動会（8・30開催）」の振り返りに基づく考察から



「子どもの活躍」は、「東溪中学校のあゆみ」でご紹介

（保護者、学校関係者等限定公開で、パスワードあり）

夏季休業が終わり、2学期スタートの1週間で本校の運動会、準備・練習・本番を行いました。詳しくはHP「東溪中学校のあゆみ」で紹介しています。

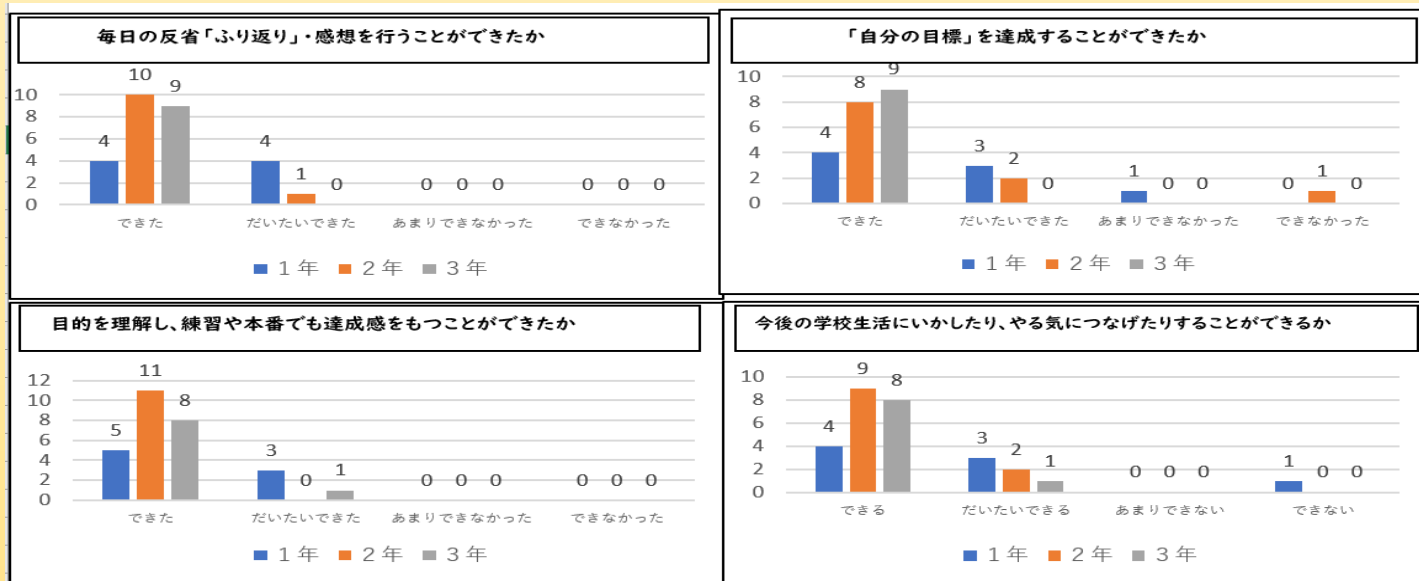
この回では主として、

子どもの変容・成果・課題を分析(Check)、

及び、本校の今後のベクトル(Action)

を示します。

① アンケート集約結果の分析



自分の目標を達成できた理由

規律・自主性：生きて働く知識・技能 主体性・レジリエンス：未知の状況にも対応できる思考・判断・表現力

規律	<ul style="list-style-type: none"> ・人が前で話しをする時、よい姿勢で真剣によく聞けたから ・協したりテキパキ動いたり、話をしている人の方を見て話を聞けたから ・自分で進んで行動したから ・係の仕事をちゃんとしてきたから ・確認できたと思うから ・開会式の入場の時の声が練習よりもできていたから
自主性	<ul style="list-style-type: none"> ・テント設営や練習後の片づけなどを自分からできたし、時計を見ながら余裕をもって行動できた ・毎時間、集中してできたから ・すべてを一生懸命できたから ・めあてを意識して頑張ったから ・団長として全員をまとめることができたから ・いつも意識して守っていたから
協働性	<ul style="list-style-type: none"> ・最後まで諦めずに最後までできた ・みんなと協力できた ・赤団全員と協力して楽しくできたから ・大きな声で応援をしたりしたから ・仲間と協力して頑張れたし、自分の仕事もしっかりできたから
主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えてしっかりと動いたから ・テントを作る時に、自分で考えながら作れたから ・自分から困っている人を手伝ったりしたから ・毎日、自分から率先してできたから
レジリエンス	<ul style="list-style-type: none"> ・あきらめなかったから ・最後まで諦めずに最後までできた ・みんなと協力できた



運動会を通して学んだこと

赤 主体性に関連が深いこと

青 レジリエンスに関連が深いこと

- ・最後までみんなで全力で協力すること・すばやく行動することの大切さ
- ・きつい時でも諦めずにすることの大切さ
- ・協力したら、リハーサルで負けていても本番では勝てるようになったこと
- ・みんなと一致団結して協力すること
- ・練習でうまくできなかった競技を練習してできるようになったので最後まで諦めずにやることの大切さ
- ・全力を出す、仲間を大切にすることの重要性
- ・負けていても最後まであきらめないこと
- ・みんなと協力してみんなでダメなところを見てアドバイスすることが大事だと学んだ
- ・みんなに声かけなどが大切だと思った
- ・みんなで団結し目標に向かうこと
- ・目標を達成した幸福感など
- ・協力の大切さ カバーし合うところ
- ・チームで協力し合うこと
- ・一人じゃなくてみんなでやること
- ・みんなの協力が大事なこと
- ・みんなと協力すること
- ・応援されるとよく頑張れること
- ・団結することの大切さ
- ・同じ団の人と協力して勝ったときとても嬉しいし楽しくなること
- ・みんなで協力すること
- ・仲間と力を合わせて協力することの大切さ
- ・協力することの大事さや団長としての態度
- ・しっかり話を聞くこと
- ・勝ち負けに関係なく仲間と練習することができたこと
- ・スポーツをすることの楽しさや団結力
- ・少ない時間でもどんなふうにも動けば時間を有効に使えるか
- ・仲間と協力すること
- ・友だちと話し合ったりして仲を深められたこと
- ・人がいないと（協力）運動会がまわせないことに気づいた

今後の学校生活にいかしたりやる気につなげたりする具体的な考え

- ・勉強や部活でも最後まで諦めずに一生懸命に頑張りたい
- ・素早く行動することでタイムロスをなくしていきたい
- ・他学年と協力したり自分から行動することはこれからも大切にしたい
- ・勉強などでもいかしたい
- ・団のみんなで協力したようにみんなで協力していき、一人じゃできないこともみんなでやってみようようにしたい
- ・係が放送だったので、大きな声ではきはきとあいさつできるように頑張りたい
- ・積極的にいろいろなことをしたい
- ・全力で楽しんでやったことを勉強にもいかしたい
- ・放送係の仕事で放送したときに何人かの人にほめられたから、いろんなことでほめられたい
- ・協力は大事だと実感したから、他のことにもいかしたい
- ・いろいろなことでできなくてもあきらめないようにしたい
- ・失敗しても切り替えるようにしたい
- ・文化祭でみんなで協力してよい文化祭にしたい
- ・いろいろなことをちゃんと考えて行動したい
- ・何かを頑張っている人に積極的に応援したい
- ・みんなと協力して成功した時の達成感を味わいたい
- ・文化祭でみんなで協力しようと思うから
- ・人の話をちゃんと聴きたい
- ・勉強へのやる気につなげたい
- ・根性をいかそうと思うから
- ・他の行事でも自分から率先して動くことなど学校生活でもそうしていきたい
- ・時間はどの行事でも大切なものだと思うから有効に使いたい
- ・体力・協力性などをしっかりといかしていきたい
- ・みんなと力を合わせるときは協力していきたい

② 検証

概略的には、認知能力と非認知能力がバランスよく向上していることがデータから伺えます。本校は教科等で必要な語句、表現を習得し、「生きた知識」として言語化・活用することに軸足を置いてきました。（東溪中学校だより2号参照）いわゆる学力テストなどの「目に見える学力」にはまだ直結していませんが、学んだことを「主体的」に（自分の頭で咀嚼し、創意工夫するなどして）行動に移しています。教員から指導を受けたり、知識として得たりしたことをそのまま実行することは「自主性」に留まりますが、未知の状況に活かし、更に自身のキャリア形成（職業・仕事の狭義だけでなく、自他ともに成長しようとする）ことなど、「主体性」につなげています。母数（全校生徒28名）が少数ですので、数値でのエビデンスを示すことは難しいですが、「合意形成」する力の涵養に向かっていると判断します。

④ 今後について（Action）

これまでお示しのように、「子どもの変容」で達成状況の測定は継続しますが、本校職員の「子ども軸」での取組による目標達成状況です。次回は、全校で取り組む「自律（自立）した学習者の育成」について、成果・課題を明確にした進捗状況をお示しします。「学びの個性化」の担保できる、誰一人取り残さない（取り残されない）支持的風土の醸成を引き続き、生徒・全職員・地域一体で目指していきたいと考えます。